



NPO法人新町スポーツクラブ 組織の沿革と活動理念

平成9年度から平成25年度

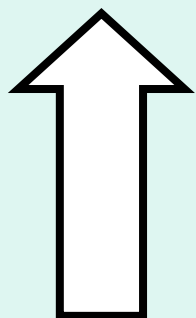
NPO法人新町スポーツクラブ活動理念

- ① 青少年の健全育成と子どもの体力向上
- ② いつまでも元気で活動的な中高齢者育成
- ③ 国際国内交流による地域愛の育成
- ④ 地域で育って地域で役立つ心がある人の育成



新町スポーツクラブライフサイクル

クラブ運営者
クラブ指導者
クラブマネジャー



ユースボランティア

中高齢者
クラブを楽しみながら支えて生涯クラブ員として活動できる

高校生以上は地域のチームとして愛され、中学生以下を指導する。

幼児から小学生は様々なスポーツ文化体験ができる

中学生から専門的な指導が受けられる

新町スポーツクラブの歴史1

- 1997年度から1999年度まで(財)日本体育協会から総合型地域スポーツクラブ育成モデル地区指定(全国6ヶ所)を受ける。
- 3年間 各年度105万円の補助金
- 補助事業の趣旨として、「スポーツ少年団を核にして組織」とあったことから町内にある既存の青少年団体全てに声を掛けて設立準備

新町スポーツクラブ
設立準備当時の
組織図(1997.11)

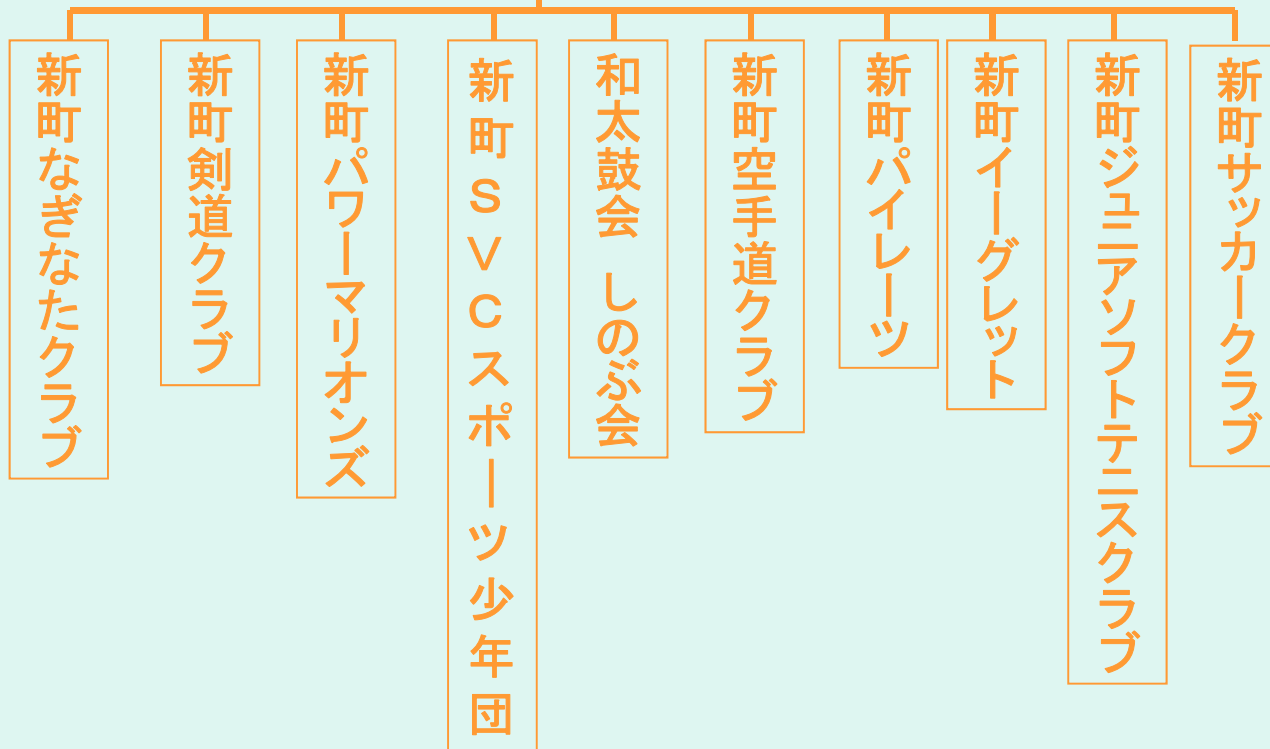


新町スポーツクラブ育成協議会

クラブマネージメント部
(事務局)

ユースボランティア部門

既存団体部門



新町スポーツクラブの歴史2

- 2000年11月23日 群馬県内初の総合型地域スポーツクラブ設立
- この時点で会費を徴収(1家族千円)
- 2001年度後半から笹川スポーツ財団の補助金を得て、「中高校生のスポーツ教室」を開催し、2002年から本格的に組織化
- 中高校生のスポーツ教室の目的は、中学校の部活動の支援と高校生地域活動参加

新町スポーツクラブ
設立当時の組織図
(2000.11)



新町スポーツクラブ育成協議会

クラブマネジメント部
(事務局)

ユースボランティア部門

既存団体部門

新町なぎなたクラブ

新町剣道クラブ

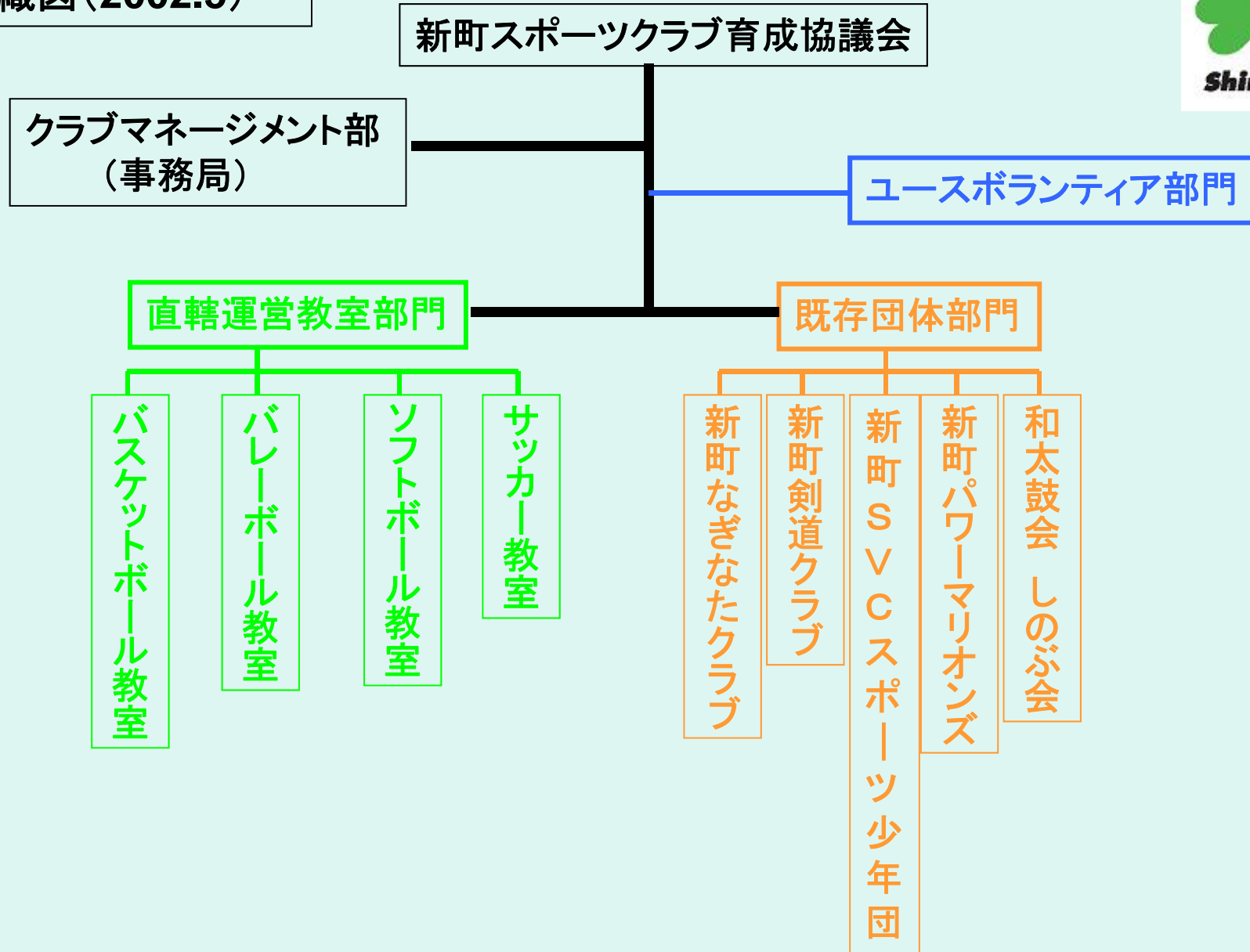
新町パワーマリオンズ

新町SVCスポーツ少年団

和太鼓会
しのぶ会

会費徴収を決定して組織運営することになったため複数の団体が離脱した

新町スポーツクラブ
組織図(2002.5)



NPO法人新町スポーツクラブの歴史3

- 2005年度から中高校生のスポーツ教室の下部組織として小学生も会員募集開始
- 2007年度から新町中学校からの協力要請によって陸上教室を新規事業として開始
- 2008年度大幅に会費を値上げして補助金なしの自主運営開始
- 2010年12月NPO法人格取得

新町スポーツクラブ
組織図(2010.12.24)

NPO法人 新町スポーツクラブ理事会

NPO法人新町スポーツクラブ育成協議会



クラブマネジメント部
(事務局)

ユースボランティア部門

直轄運営教室部門

既存団体部門

リズムなわとび&ダンス教室

陸上教室

バスケットボール教室

バレーボール教室

ソフトボール教室

クラウドサッカー教室

新町なぎなたクラブ

新町剣道クラブ

新町SVCスポーツ少年団

新町パワーマリオンズ

和太鼓会 しのぶ会

新町空手道クラブ

NPO法人新町スポーツクラブの歴史4

- 2011年3月 東日本大震災の被災地支援として義援金を集めるだけでなく文房具類等を支援(福島県いわき市・相馬市)
- 被災地支援については、現在も継続中
- 2011年11月高崎市の支援を受けてトップアスリート講演会・実技研修会を開催
- 2011年12月 群馬県知事とがん啓発検診率向上協力団体として協定を締結
- 2012年7月九州北部豪雨被災地(八女市・日田市)へ雑巾・タオルを支援
- 2012年10月 新町スポーツクラブの核になった新町スポーツ少年団文部科学大臣表彰受賞
- 2013年度から新町地域スポーツ推進委員と一緒に活動開始

新町スポーツクラブ
組織図(2013.5.26)

NPO法人 新町スポーツクラブ理事会

NPO法人新町スポーツクラブ育成協議会



クラブマネジメント部
(事務局)

新町地域スポーツ推進委員

ユースボランティア部門

直轄運営教室部門

既存団体部門

幼児・低学年向け外遊び教室

ドッジボール教室

リズムなわとび&ダンス教室

陸上教室

バスケットボール教室

バレーボール教室

ソフトボール教室

サッカー教室

新町なぎなたクラブ

新町剣道クラブ

新町SVCスポーツ少年団

新町パワーマリオンズ

和太鼓会 しのぶ会

新町空手道クラブ